

～横須賀市の学校教育～

輝け！よこすかの子どもたち

「人間性豊かな子ども」を育む



子どものための音楽会



表現運動・ダンス発表会（武山小）



駅伝大会男子 浦賀中 優勝



駅伝大会女子 大津中 優勝

- P1～2 ----- 学力の向上を目指して ～学習習慣の確立～
—学力向上シンポジウムと放課後教室の取り組み—
- P3～4 ----- 健やかな体をつくるために
—体力づくりに向けた取り組み—
—食育の取り組み・薬物乱用防止教室の開催—
- P5 ----- 豊かな心の育成 —道徳の授業・美術館での鑑賞—
- P6 ----- 養護学校の取り組み・相談教室の充実
- P7 ----- 幼保小中の連携

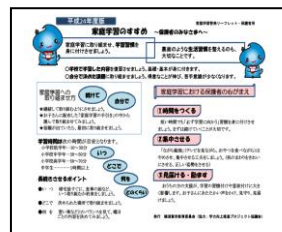
2013年3月
第3号



学力の向上を目指して ～学習習慣の確立～

子どもたちの学力の向上を図るためには、「学習習慣の確立」が重要になってきます。横須賀市では、家庭での学習の重要性や役割などを一緒に考えていただくために、昨年度から『家庭学習啓発リーフレット』を作成・配布しています。また、昨年10月24日に、2回目となる『学力向上シンポジウム』を、「学習習慣の確立を図るために学校・家庭ができること」というテーマのもと開催しました。学習内容の確実な定着を促し、学習習慣を確立するための取り組みとして、サポートティーチャーの活用も行っています。

これら「**学習習慣の確立を図る**」手立てが、子どもたちの学力向上につながっていきます。



家庭学習啓発リーフレット

学力向上シンポジウム

横須賀の子どもたちの現状として、「**家庭学習の時間が短い**」という課題があります。パネルディスカッションでは、県立保健福祉大学の山本妙子先生から「生活の基本となる食事を規則正しく摂ることで、学力の向上にもつながってくるのではないかな」という**生活習慣の確立の重要性**や保護者代表の方から「一番大切なのは**学習環境を整えること**であり、時には保護者も一緒に自分の勉強をすることも効果的である」といったお話がありました。また、教育創造センターの高階玲治先生は、子どもたちが自分で学習するための4つの条件の1つとして、「**学習する場と時間があること**」をあげられ、学校や家庭でこれを作りだしていくことが重要であると話されました。



学力向上推進モデル校である不入斗中学校では、『家庭学習カレンダー』を作成し、毎日ホームルームの時間に生徒一人一人が記入し、振り返ることで、家庭学習の定着を図っています。

【不入斗中学校 保護者の声から】

- ・親子で話し合って、毎日勉強時間を確保する、問題集を利用して問題に慣れるということを当面の目標とした。反抗期で親の言葉に耳を貸さないが、面談を通じて、このままではまずいと感じたようだ。
- ・中学に入り、家庭学習の時間を決めて、問題集などをやるようになった。家庭学習カレンダーの計画通りに取り組んでいる。

学校と家庭が連携することで、家庭学習に取り組む習慣が少しずつ身に付いてきている様子がうかがえます。



毎日記入することで、少しずつ勉強の仕方わかり、家庭学習の時間も増えてきたよ



家庭学習カレンダー

放課後教室の取り組み

本年度から、小学校に引き続いて、中学校でも一人一人に学力を定着させる放課後教室（学習会）が始まりました。担当しているのは、教員免許をもっているサポートティーチャーです。

現在、小学校 41 校で実施、中学校 2 校で試行しており、38 名のサポートティーチャーが派遣され、放課後を中心に行っています。中学校では、それぞれの学校の状況に応じて工夫した取り組みがされています。

不入斗中学校

週に 2 回、数学を中心に行われ、10 数名が参加しています。サポートティーチャーは数学の授業にも入り、子どもたちの様子をつかんでいます。明るい雰囲気でも熱心に取り組む姿が見られました。



少ない人数だから
質問もしやすいよ

わからないところを
教えてもらえるから
学習会がいいね。ずいぶん
できるようになったよ！

「この学習会に意欲的にまじめに取り組んでいる生徒は試験もできるようになり、授業でも積極的な様子が見られるようになってきています。学習会に参加しながら勉強するこつや勉強の仕方が身に付いてきたからなのではないでしょうか。」と、担当の石橋先生。

公郷中学校

前期にわからなかったところ
がここに参加してできるよう
になった。自分のためになってい
ると思う



みんなで勉強するし、
わかると楽しいよ！

サポートティーチャーが、授業に合わせて準備したプリントや復習に取り組んでいます。国語と数学を中心に行っています。宿題がでることもあり、家庭学習の定着にも効果があるようです。

「10 名以内と少ない人数なので、一人一人に応じた課題で指導できるので、ずいぶん学習の定着が進んでいます。続けることが一番大切ですね。」と担当の山口先生。

健やかな体をつくるために

体力づくりに向けた取り組み

各種大会の開催

横須賀市の児童生徒の体力の向上に向けた取り組みとして、さまざまな大会が開催されています。



小学校児童陸上記録大会

市内各小学校代表の5・6年生が、不入斗陸上競技場で記録を目指して取り組みます。



小学校児童ボール運動大会

市内各小学校6年生が各会場に分かれ学校対抗で競い合います。

表現運動・ダンス発表会

小中学校の授業などで取り組んでいる表現運動・ダンスを発表する機会です。小中合同で行う数少ない行事の1つです。



体力づくりの推進

運動する子どもとしない子どもで、体力に差があることが、課題となっています。そこで、各校では生徒の実態にあった取り組みが行われています。

年間7回ほど講師を招いて、体幹を鍛えるトレーニングなどを実施



運動部活動モデル校（神明中学校）

普段使わない筋肉のトレーニングはきついな！

続けたことで、4月より記録があがったよ！

体力テストで課題がみられた敏しょう性などを上げる取り組みを毎時間の授業で継続



体力づくり指定研究校（浦賀中学校）

食育の取り組み ～食に関する知識と望ましい食習慣を身に付ける～

食生活を取り巻く社会環境の変化に伴い、子どもの食生活の乱れ、肥満や生活習慣病の増加などの健康問題が見られます。そのため、学校では、児童生徒の発達の段階に応じて、食に関する知識や能力などを総合的に身に付けることができるよう教育活動全体で指導しています。

平作小学校～体力づくり指定研究校～県立保健福祉大 鈴木志保子先生による『食に関する指導』



「早寝・早起き・朝ごはん」がどうして大切なのか、科学的にわかりやすく説明してもらいました。また、おいしそうに見えるように“愛をこめて”配ることが「食」を大切にするにつながることだとわかりました。

長井中学校 ～技術・家庭科～ 地域の食文化



青首大根や三浦大根を自分たちで育て、大根サラダやスープなどのレシピを一人一人が考えてつくり、自分たちで食べました。地域の食文化について関心や理解が深まりました。

薬物乱用防止教室の開催 ～薬物に対する正しい知識と対処の仕方を身に付ける～

武山小学校



薬ってこわいね



こんなに薬物ってあるんだね！

鷹取中学校



誘われたら、どうやって断ろうかな？

豊かな心の育成

道徳の授業を通して

道徳の時間は、例えば、読み物資料の主人公の気持ちに子どもが心を寄せて、主人公を共感的にとらえたり、批判的にとらえたりしたことを学級の仲間と話し合う中で、自分の心の中にある大切なことや今まで気づかなかった思いと向き合い、道徳的価値を追求し、自分なりに心を育む時間です。

一人目のきこりは正直だから
金のおのをもらって良かった

二人目のきこりは
うそをついちゃった
からもらえなかった



横須賀市道徳教育連携・推進講座 ～栗田小学校 1年生「きんのおの」より～

美術作品鑑賞会

美術作品鑑賞会は優れた作品を鑑賞する機会を設け、豊かな心を育てることを目的に、市立小学校6年生が横須賀美術館の作品を見学する取り組みです。



ぼくはこの
作品が気に入ったよ



この作品ここが
上手だね

児童生徒造形作品展



児童生徒造形作品展は、年に1回、横須賀市内の全ての学校から作品が出品され、横須賀美術館に展示されます。



山崎小学校6年生 ～横須賀市の所蔵作品と造形作品展の鑑賞～

横須賀美術館

養護学校の取り組み

養護学校では、小中学部合わせて、44名の児童生徒が、それぞれの状況に応じた課題や目標に向かって、さまざまな人と関わりながら学習活動を展開しています。

学校の中では、子どもに応じた学校行事に取り組む中で、生活経験を拡大し、将来の社会的自立に向けた取り組みを進めています。



身体をほぐすためのプールの授業

車いすダンス
大好き！！

リラックスした
笑顔になったね



やまゆり祭（文化発表会）のステージ

岩戸の町にレッツゴー！



中学部くらしの学習

相談教室の充実

不登校の子どもに対して、学校への復帰を目指して支援する教室が相談教室です。教室では、個別または小集団での学習活動や体験活動などを行っています。

市では、現在5施設7教室を設置しています。

- ・ ゆうゆう坂本相談教室（小・中学生）
- ・ 武山相談教室（小・中学生）
- ・ 久里浜相談教室（中学生）
- ・ 公郷相談教室（中学生）
- ・ 汐入相談教室（小学生）

新しくなった「ゆうゆう坂本」



子どもたちの学習風景

幼保小中の連携 ～幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校がつながって～

幼稚園・保育園と小学校の交流

市内では多くの幼稚園・保育園の園児が給食体験を行ったり、小学校の生活科・総合的な学習の時間などを使って授業交流を行ったりして、園児が安心して、小学校に入学できるように取り組んでいます。



鴨居小と岩波幼稚園の給食交流

小学校の給食
おいしいね

小学校と中学校の交流

小学生が中学校の先生の授業を受けたり、生徒会役員から中学校生活について聞いたり、授業交流を行ったりするなど、中学校のイメージがもてるように工夫した取り組みを各小中学校で行っています。また、中学生は小学生と交流することで、自己肯定感が高まり、小学生も中学生を憧れの対象、目標として見るようになります。

わかって
くれたかな？

岩戸小児童の体験授業（岩戸中）



中学校の
授業って
おもしろ
そうだね

おねえちゃん、
これでいいの？

池上中と平作小の授業交流

中学校は
小学校と
ちがうなあ！

生徒会役員による学校生活の説明（長井中）



幼保小中の先生方が、お互いにねらいを十分理解し、教育活動を協力して行うことで、子どもの学びを豊かにすることを目指して取り組んでいます。

《編集・発行責任者》 横須賀市教育委員会 教育総務部総務課 教育政策担当

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

TEL：046-822-9709（編集担当直通） FAX：046-822-6849

E-mail：sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀が好き！



◇この冊子についてのご意見やご感想をお寄せください。お待ちしております。